

障害者の舞台芸術表現活動・鑑賞支援プラットフォーム構築に向けて

Open Arts Network Project

第1回シンポジウム

参加につながる情報発信

全国的に障害のある人たちの表現活動・鑑賞の機会を創出していく意識が高まり、多くの劇場・音楽堂等で、多様な人が参加できる事業への取り組みがはじまっています。この取り組みを通じて、具体的な課題が見え、その課題を解決するためのノウハウが求められています。第1回シンポジウムでは、「参加につながる情報発信」をテーマに、実践者の取組事例をもとに多角的に考察し、劇場・音楽堂等が抱える事業づくりの課題解決と事業の充実を図るために参加者とともに考えます。

第1部 実践者たちによる取組事例紹介

スピーカー

吉川剛史 [公益財団法人 豊橋文化振興財団 穂の国とよはし芸術劇場PLAT]

山田里子 [公益財団法人 川崎市文化財団 ミューザ川崎シンフォニーホール]

コーディネーター

吉野さつき [愛知大学文学部現代文化コースメディア芸術専攻 教授]

Case study

第2部 課題解決編～実践者、知見者によるクロストーク～

パネリスト

吉川剛史 [公益財団法人 豊橋文化振興財団 穂の国とよはし芸術劇場PLAT]

山田里子 [公益財団法人 川崎市文化財団 ミューザ川崎シンフォニーホール]

岸本匡史 [公益財団法人 としま未来文化財団 あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター) 制作]

廣川麻子 [特定非営利活動法人 シアター・アクセシビリティ・ネットワーク 理事長]

南部充央 [株式会社リアライズ バリアフリーイベントディレクター]

鈴木京子 [社会福祉法人 大阪障害者自立支援協会(国際障害者交流センター ビッグ・アイ) プロデューサー]

ゲスト

長津結一郎 [九州大学大学院芸術工学研究院 助教]

コーディネーター

吉野さつき [愛知大学文学部現代文化コースメディア芸術専攻 教授]

長津結一郎

九州大学大学院芸術工学研究院助教、および芸術工学研究院 附属ソーシャルアートラボ・メンバー。博士(学術・東京藝術大学)。アーツ・マネジメント、文化政策学、芸術社会学などをベースとし、障害のある人などの多様な背景を持つ人々の表現活動に着目した研究を行う。また近年は、芸術活動の担い手育成や市民創作ワークショップをフィールドとして、芸術文化の持つ役割についての考察を深めている。著書に『舞台の上の障害者：境界から生まれる表現』(九州大学出版会、2018年)。共著多数。主な役職に、障害者による文化芸術活動の推進に関する国の基本計画案作成のためのワーキンググループ構成員、厚生労働省障害者芸術文化活動普及支援事業評価ガイドライン作成事業評価ガイドライン検討委員ほか。



シンポジウム終了後、交流会開催

(～18:00終了予定)

Cross talk

2019 3.25 14:00～16:30(開場13:30) mon.

ブリーゼプラザ 会議室(803・804号室)

大阪府大阪市北区梅田2-4-9(ブリーゼタワー8階)

手話通訳
字幕

申込締切:2019年2月28日(木)

(定員に達し次第、締切)

参加無料 定員:80名(要申込・先着順)

 文化庁 文化庁委託事業「平成30年度文化庁戦略的芸術文化創造推進事業」

主催:文化庁/社会福祉法人 大阪障害者自立支援協会(国際障害者交流センター ビッグ・アイ)

制作:社会福祉法人 大阪障害者自立支援協会


beyond
2020


ビッグ・アイ
国際障害者交流センター
International
Communication Center
for Persons with Disabilities

応募方法 ①～⑪を明記し、ハガキ、封書、FAX、ビッグ・アイのウェブサイトの応募フォームのいずれかでご応募ください。

応募締切 2019年2月28日(木) 2月中旬頃より、参加案内通知書を郵送いたします。
※先着順のため、定員に達した時点で締切日を前に受付を終了させていただいております。

応募先
お問合せ 「OANシンポジウム」係
〒590-0115 大阪府堺市南区茶山台1-8-1 国際障害者交流センター ビッグ・アイ
TEL 072-290-0962 FAX 072-290-0972 Eメール arts@big-i.jp ウェブサイト http://big-i.jp
※電話でのお問合せは土日祝を除く、10:00～17:00

応募用紙

フリガナ		② 年齢	フリガナ
① 氏名		歳	③ 所属 (団体・会社名など)
フリガナ	参加案内通知書送付先の住所をご記入ください。		
④ 住所	〒 _____		
⑤ TEL	() -	⑥ FAX	() -
⑦ Eメール			
⑧ 障害の有無	いずれかに○をお付けください。 ある ・ ない	フリガナ	⑨ 同伴者氏名 介助が必要な方は、介助者のご同伴をお願いいたします。
⑩ 交流会	参加 ・ 不参加 ※会費制: 1人1,000円(当日払い)		
⑪ 希望するサポート<要事前申込>	※該当する項目に○をお付けください。 (ア) 手話通訳 (オ) その他 ※特に配慮を要する事項があれば、具体的にご記入ください。 (イ) 要約筆記 (ウ) 車いすでの来場(名) (エ) 補助犬の同伴 ※点字資料を希望される方はお問合せください		

※この応募用紙にご記入いただいた個人情報は、個人情報保護関係法令を遵守し、本事業の目的以外には使用いたしません。

Open Arts Network Project (オープン アーツ ネットワーク プロジェクト) とは

芸術は、人が尊厳を持って生きるために重要なものです。芸術がその自立性と多様性、革新性を保ち、また、あらゆる人が自由にその創造や鑑賞に参加し、多様な表現を認め合うことは、異なる価値観や文化、異なる身体や心のあり方を、互いに尊重し合いながら生きることができる社会の実現につながります。

また芸術は、その歴史の中で、障害者、高齢者、セクシュアル・マイノリティ、移民や難民など、社会におけるさまざまな人にとっての「障害」や、生きづらさとも関わりながら、表現を通してその課題を可視化し、声を上げ、つながり、社会と芸術そのものへの変革を促してきました。

しかし、あらゆる人が表現を通して他者と関わり、社会に参加し、その活動の継続、発展を可能にするための仕組みづくりや環境整備は、未だ十分に整っているとは言えません。舞台芸術分野においてもそのニーズが高まっています。

このような現状を鑑み、私たちは、開かれたネットワークによるプラットフォームを構築し、舞台芸術と福祉や社会支援に携わる個人や個々の団体が持つ知見や技術の共有、多様な表現や創造活動の情報発信やアーカイブ、現場を担う人材の育成、これらの領域における研究や国内外の交流を図ります。

芸術と社会支援が交差し協働することによって、各分野に活性化と発展をもたらす、社会の創造的な変革へとつながることを目指します。



吉野さつき [愛知大学文学部現代文化コースメディア芸術専攻 教授]
岸本匡史 [公益財団法人 としま未来文化財団 あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター) 制作]
廣川麻子 [特定非営利活動法人 シアター・アクセシビリティ・ネットワーク 理事長]
南部充央 [株式会社リアライズ パリアフリーイベントディレクター]
鈴木京子 [社会福祉法人 大阪障害者自立支援協会(国際障害者交流センター ビッグ・アイ) プロデューサー]